

をききし可成の思ふにありて聖人のけし
よありきしは候もあらきまや

予情按さるに昔より旅人金銀を惜ます
けしよ心をききふりて小急の山は稀き
や芭蕉翁はあよきまて

預られぬ湯屋にぬきを被り那

と吟きしれハ新勅撰小

急の山一々き小急の急き

入初よりぬき袖り那

と形伴の誦みあり心をきしれき

やと伝ふもいあり登山の刻先達なる山伏
山のゆくを預りてとて誓をいす
事ありとそなへて又文字に預られぬと
ハ至るひりきや予集訪りては
誓をいすをきしれき
あれたけしれを略し傳ふけし
川鉦大鋼村はありて
下に江も江連寺の境内は関白豊福寺天
神彩山権現様といふあり